

(報 告)

平成 31 年度京都府いじめ調査(1 回目)の結果について

いじめ防止対策に関連し、府のいじめ調査結果(1 回目)を取りまとめましたので、下記のとおり報告します。

令和元年 9 月 12 日

教育長 橋本 幸三

記

1 平成 31 年度京都府いじめ調査(1 回目)の概要

※別紙 1 のとおり

2 いじめ調査(1 回目)の結果(小・中・義務教育学校・府立学校)

※別紙 2 のとおり

別紙 1

平成 31 年度いじめ調査(1 回目)の実施について (概要)

1 調査の目的

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害する人権侵害であり、どの子どもにも、どの学校でも起こりうるものである。本調査は、いじめの実態把握を行うことにより、早期発見・早期対応に繋げていくことを目的とする。

2 調査対象

府内の全公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒（京都市立学校を除く。）

3 調査方法

学校は、全ての児童生徒を対象にいじめのアンケートと個別の聞き取り調査を実施する。

※ アンケートについては、原則として記名式とするが、児童生徒が氏名を書かない選択肢を残すこととする。なお、市町(組合)教育委員会の判断により無記名も可とする。

※ 特別支援学校の児童生徒及び小学校 1・2・3 年生に対しては、アンケートによらない調査方法も可とする。

※ 長期欠席者等については、家庭訪問等により、きめ細かな状況の把握に努めることとする。その場合、アンケートによらない調査方法も可とする。

4 調査の実施

- (1) 1 回目の調査は 3 の調査方法により、市町(組合)教育委員会が定める期日までに実施する。
- (2) 1 回目の調査の実施後は、アンケート・面談・日常の観察等、学校の実態に応じて令和 2 年 1 月末までに追跡調査を実施する。
- (3) 各学校における調査については、学校の実態に応じて適切な時期に実施する。

5 結果の集計

- (1) 調査により認知したいじめについて、次の項目で集計する。

認知	児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍しているなど当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。 ※「兄弟間のいじわるやけんか、親に叱られた等家族の間で生じたケース」は除く。
解消	国の「いじめの防止等のための基本的な方針」におけるいじめが「解消している」状態に基づいて判断する。 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの。(相当の期間とは、少なくとも 3 カ月を目安とする。)
未解消	○次の 3 区分で集計する。 見守り：いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの。(相当の期間とは、少なくとも 3 カ月を目安とする。) 要支援：いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。 要指導：いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
重大事態	「いじめ防止対策推進法」第 28 条第 1 項に定める事態 ①いじめにより当該学校に在籍する児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるもの。 ②いじめにより当該学校に在籍する児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるもの。(「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間 30 日を目安とする。)

- (2) 項目ごとに「件数」を集計する。また、認知及び重大事態の「態様」について集計する。
- (3) 集計には、アンケート等で把握したもの他に、教職員が日常的に把握したものも含むものとする。

6 結果の公表

- (1) 学校は、調査結果について、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー、学校運営協議会等の視点を取り入れた検証を行うとともに、学校だより等を活用して保護者に結果を知らせる等、学校、家庭、地域が連携していじめ問題に取り組むよう努める。
- (2) この調査の報告結果については、原則公表するものとする。

別紙2

平成31年度いじめ調査(1回目)の結果について(小・中・義務教育学校)

1 アンケートの実施状況

(1) 対象児童生徒数等 (単位:人)

	学校数	在籍者数	調査数	家庭訪問による調査(内数)	未調査者数	前年から連続して未調査者数(内数)
小学校	205	59,915	59,649	31	266	156
中学校	97	29,675	29,453	219	222	88
合計	302	89,590	89,102	250	488	244

(2) アンケート方法 (単位:校)

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	176	22	79	9
無記名式	7	0	7	2
合計	183	22	86	11

2 認知件数及び解消・未解消件数

(単位:件)

	小学校						中学校							
	認知	解消	未解消			重大事態		認知	解消	未解消			重大事態	
			見守り	要支援	要指導	要支援	要指導			見守り	要支援	要指導	要支援	要指導
府立							12	0	12	0	0	0	0	0
向日市	678	38	385	98	157	0	0	81	1	68	3	9	0	0
長岡京市	901	19	473	160	249	0	0	90	1	51	24	14	0	0
大山崎町	109	20	89	0	0	0	0	11	0	11	0	0	0	0
宇治市	1,370	5	1,259	73	33	0	0	160	1	98	21	40	0	0
城陽市	856	15	624	107	110	0	0	91	1	52	14	24	0	0
八幡市	688	0	466	81	141	0	0	54	0	36	4	14	0	1
京田辺市	810	1	551	85	173	0	0	45	0	36	5	4	0	0
木津川市	1,322	6	1,221	82	13	1	0	102	1	93	8	0	0	0
久御山町	190	0	164	11	15	0	0	23	0	8	5	10	0	0
井手町	48	0	43	4	1	0	0	6	0	4	2	0	0	0
宇治田原町	56	0	43	13	0	0	0	7	0	4	0	3	0	0
精華町	537	0	436	49	52	0	0	25	1	9	10	5	0	0
相楽東部連合	34	0	33	1	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0
亀岡市	711	24	586	67	34	0	0	75	1	51	13	10	0	0
南丹市	74	0	57	16	1	0	0	11	2	7	2	0	0	0
京丹波町	83	0	61	14	8	0	0	5	0	5	0	0	0	0
綾部市	369	5	246	41	77	0	0	25	0	11	13	1	0	0
福知山市	724	46	404	64	210	0	0	74	0	51	12	11	0	0
舞鶴市	854	0	743	104	7	0	0	161	0	115	46	0	0	0
宮津市	151	7	86	49	9	0	0	37	0	11	18	8	0	0
京丹後市	422	8	319	28	67	0	0	43	0	37	5	1	0	0
伊根町	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
与謝野町	95	0	43	29	23	0	0	18	0	9	9	0	0	0
中学校組合								11	0	11	0	0	0	0
合計	11,086	194	8,336	1,176	1,380	1	0	1,170	9	793	214	154	0	1

※上記、重大事態は未解消の内数

3 いじめの態様

(単位:件/複数回答可)

態様	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	合計
小学校	6,144	2,168	3,127	1,458	357	777	1,482	207	1,024	16,744
中学校	811	129	213	79	18	51	81	64	103	1,549

- ① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話・スマートフォンで、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

4 未調査者の状況

(単位:人)

理由	小学校	中学校
保護者、生徒とも居所不明	0	0
保護者とは接触できるが、本人に会うことができず、その状況が把握できない。	29	50
保護者や児童生徒が調査に応じられる状況にない。	66	71
フリースクール等の学校以外の施設に通所	166	84
病気・入院等により調査ができない。	3	9
その他	2	8
合計	266	222

平成31年度いじめ調査(1回目)の結果について(府立特別支援学校・高等学校)

1 アンケート調査の状況

(1) 対象児童生徒数等 (単位:人)

	在籍者数	調査数	家庭訪問等による調査(内数)	未調査数	前回から連続して未調査の数(内数)
高校	32,069	31,965	28	104	5
特別支援	1,624	1,614	11	10	1
合計	33,693	33,579	39	114	6

(2) アンケート方法 (単位:校)

	高校		特別支援学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	47	0	33	4
無記名式	0	0	2	0
合計	47	0	35	4

※特別支援学校については、小、中、高等部の発達段階に応じて、様式がそれぞれ異なる場合があります。11校以上となっている。

2 認知件数及び解消・未解消件数

(単位:件)

	認知	解消	未解消			重大事態		
			見守り	要支援	要指導	見守り	要支援	要指導
高校(全日制)	265	22	142	54	47	0	0	0
高校(定時制)	32	3	15	8	6	0	0	0
高校(通信制)	4	0	3	1	0	0	0	0
高校合計	301	25	160	63	53	0	0	0
特別支援学校	133	21	54	18	40	1	0	0

※上記、重大事態は未解消の内数

3 いじめの態様

(単位:件)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	合計
高校(全日制)	169	37	18	3	5	17	15	22	26	312
高校(定時制)	18	3	1	0	0	1	5	2	7	37
高校(通信制)	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
高校合計	190	40	20	3	5	18	20	24	33	353
特別支援学校	90	12	28	6	4	9	16	4	5	174

※ いじめの態様については、複数回答可

- ① ひやかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話・スマートフォンで、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

4 未調査者の状況

(単位:人)

理由	全日制	定時制	通信制	特支学校
保護者、生徒とも居所不明	0	0	—	0
保護者とは接触できるが、本人に会うことができず、その状況が把握できない。	6	8	—	5
保護者や生徒が調査に応じられる状況にない。	32	2	—	3
フリースクール等の学校以外の施設に通所	0	0	—	0
進路変更(転学・退学)の手続き中である。	18	3	—	—
休学中、または休学の手続き中である。	12	3	—	—
施設に入所中である。	0	0	—	—
留学中である。	2	0	—	—
本人の心身が不安定なため、調査に応じられない。	10	4	—	—
病気・入院等により調査ができない。	4	0	—	1
その他	0	0	—	1
合計	84	20	※	10

※ 通信制はスクーリング受講生徒のみを調査対象としている

<参考>

京都府いじめ調査の結果(平成30年度・31年度1回目)について

1 対象児童生徒数

学校種	平成31年度				平成30年度				平成29年度			
	1回目調査		2回目調査		1回目調査		2回目調査		1回目調査		2回目調査	
	学校数	在籍者数	調査数	未調査者数 前回から連 続して未調 査の数(内 数)	学校数	在籍者数	調査数	未調査者数 前回から 連続して 未調査の 数(内数)	学校数	在籍者数	調査数	未調査者数 前回から 連続して 未調査の 数(内数)
小学校	205	59,915	59,649	31	207	61,154	60,917	30	207	61,135	60,870	34
中学校	97	29,675	29,453	219	97	29,890	29,670	141	97	29,932	29,687	213
高等学校	47	32,069	31,965	28	47	33,357	33,206	59	47	33,012	32,871	49
特別支援学校	11	1,624	1,614	11	11	1,550	1,548	5	11	1,539	1,536	8
計	360	123,283	122,681	289	362	125,951	125,341	235	362	125,618	124,964	304

2 認知・解消件数

学校種	平成31年度				平成30年度				平成29年度								
	1回目調査		2回目調査		1回目調査		2回目調査		1回目調査		2回目調査						
	認知	解消	未解消 見守り 要支援 要指導	重大事態 見守り 要支援 要指導	認知	解消	未解消 見守り 要支援 要指導	重大事態 見守り 要支援 要指導	認知	解消	未解消 見守り 要支援 要指導	重大事態 見守り 要支援 要指導					
小学校	11,086	194 1.7%	8,336	1,176	1,380	0	1	0	12,443	372 3.0%	9,015	1,473	1,583	0	0	0	0
中学校	1,170	9 0.8%	793	214	154	0	0	1	1,144	15 1.3%	731	234	164	0	0	0	0
高等学校	301	25 8.3%	160	63	53	0	0	0	307	23 7.5%	186	44	54	1	0	0	0
特別支援学校	133	21 15.8%	54	18	40	1	0	0	120	12 10.0%	74	11	23	0	0	0	0
計	12,690	249 1.96%	9,343	1,471	1,627	1	1	1	14,014	422 3.01%	10,006	1,762	1,824	1	0	0	0

